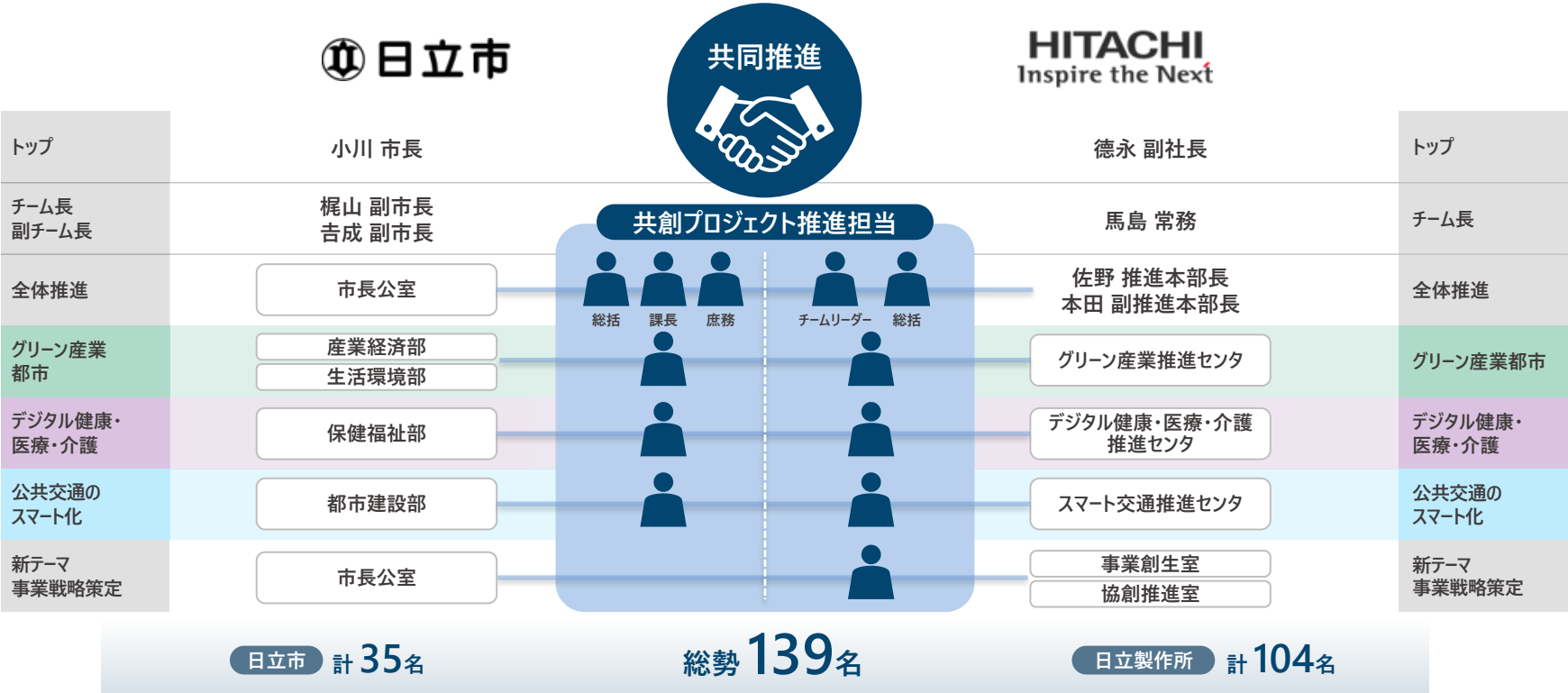


---

# 日立市×日立製作所 “次世代未来都市共創プロジェクト”について

2025年2月19日  
株式会社 日立製作所  
社会イノベーション事業統括本部  
兼 ひたち協創プロジェクト推進本部  
蛸川 哲也

日立市、日立製作所あわせてプロジェクト全体で139名が参加  
市役所内に「共創プロジェクト推進担当」を設置し、タイムリーに情報共有



## あなたとつくる未来社会

- 自治体・企業が単独では実現困難な課題に直面
- 自治体・企業等が連携した課題解決の動きはあるが、持続的な社会実装に至った例は数少ない
- 住民自身が中心となって、課題と向き合い、ともに考え、みんなの力で誰もが快適に暮らせる時代をつくる



Society 5.0

### バランスの時代

人々はテクノロジーを通じてつながり、成長の陰で生じる問題をすくい上げる



未来はいつも  
みんなの想いから  
始まる

日立 × 日立製作所  
日立市



人 口 165,914人  
(男性 82,980人、女性 82,934人)  
世帯数 81,423世帯  
事業所数 6,292 (内製造業283社)

## 日立市が抱える社会課題

### 人口減少

- ・ 人口流出（雇用口減）
- ・ 出生率低下

### 高齢者の増加

- ・ 高齢者福祉の不足
- ・ 認知症・フレイル対策不足

### 公共交通の減便

- ・ 幹線道路の交通渋滞
- ・ 山側地区高齢者の分断

### 地球温暖化対策

- ・ 地域の脱炭素化
- ・ 地域企業のグリーン競争力確保

市のCO2排出量68%が  
産業部門からの排出（2019年）

# 日立市 主要工場・日立病院分布と発展の歴史



## 日立市と日立製作所の発展

### 日立市

- 5千年前 南高野貝塚
- 1889 宮田村と滑川村が合併し、日立村が誕生
- 1905
- 1910
- 1924 日立村が日立町になる
- 1938
- 1939 日立町と助川町が合併し、日立市となる
- 1944 人口約9万人（県下最大都市）
- 1945 終戦直後の爆撃：市内の約7割が灰
- 1951 平和通りが開通・街路樹に桜を植樹
- 1957
- 1969
- 1981
- 1983 戦後鉱工業復興：人口20万6千人
- 1989 市制施行50周年
- 2011 東日本大震災：海岸部を中心とした災害
- 2023 人口：16万6千人（2023/10/1）

### 日立製作所

- 久原房之介が赤沢銅山を日立鉱山として創業
- 小平浪平が日立製作所を設立
- 日立総合病院（日立製作所の企業病院）開院
- 多賀工場新設・日立工場から日立研究所独立
- 日立工場より国分工場独立
- 大みか工場新設
- 日立鉱山が閉山



## 1910年 日立市で創業

「優れた自主技術・製品の開発を通じて  
社会に貢献する」企業理念



## 日立鉱山とともに発展

世界一(当日)の高さを誇る大煙突があった  
日立鉱山とともに住民と企業の共存共栄へ



## 地域のインフラ整備に注力

水道や電鉄・バス会社の設立、  
日立病院の開院など



## 日立工業専修学校

モノづくりのプロをめざす



## 茨城大学工学部

高度技術者・研究者を育てる



## 日立理科クラブ

世界に通じる理数教育の充実

# 次世代未来都市共創プロジェクト 2023年12月21日開始

HITACHI  
Inspire the Next

日立市

ひたち成長戦略プラン  
(日立市総合計画)の  
実現



日立市の産業アセット、  
最先端のデジタル技術、  
地域との絆をもとに  
Society 5.0を実現

HITACHI  
Inspire the Next

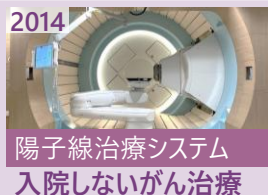


- 社会課題解決を起点とした社会イノベーション事業をグローバルで展開
- グリーンエネルギー、健康、モビリティでの事例を日立市との共創プロジェクトに適用
- 日立市との共創プロジェクトは産業都市の特性も活かしたSociety5.0の次世代都市を実現

## エネルギー 利用の革新



## 健康は 治療から 予防まで



## 誰もが快適に 移動できる モビリティ



## 次世代未来都市 (Society 5.0)

の実現に向けた共創プロジェクト

# 日立市で実現する次世代未来都市 (Society 5.0)

## 日立市で実現する次世代未来都市 (Society 5.0)

### 世界に誇れる脱炭素都市

- ・CO2排出量地域別シミュレーション
- ・CO2排出量が少ないグリーンプロダクトの採用

### 住めば健康になるまち

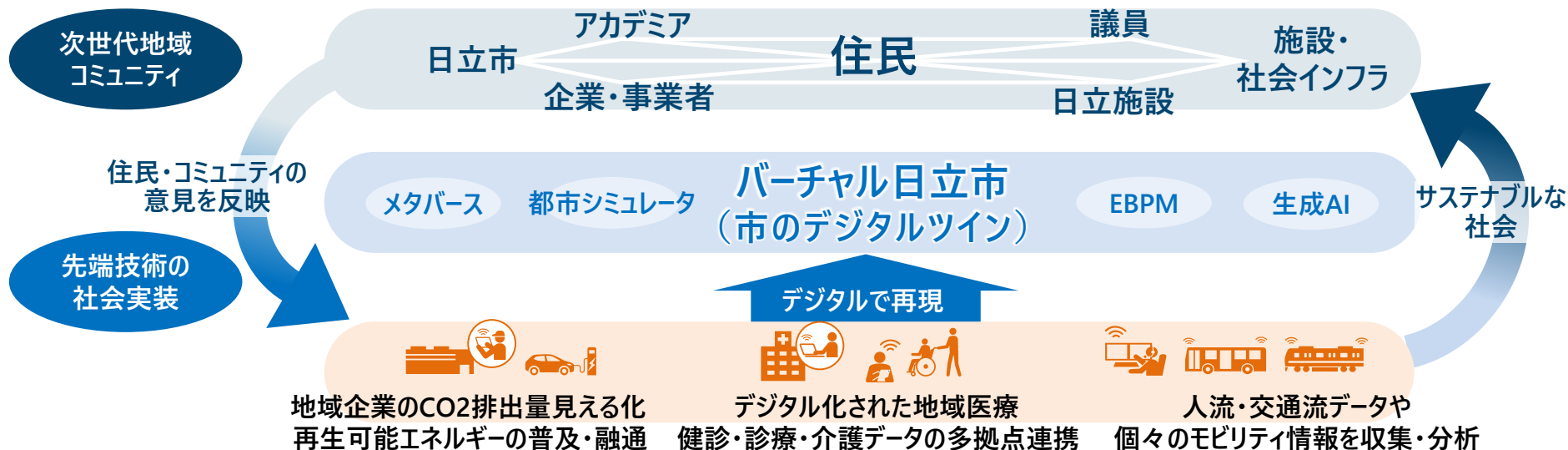
- ・健康データをもとにAIが一人ひとりに合わせて食事や運動などの健康指導

### 住民参加型のまち

- ・バーチャル日立市の中で職員とディスカッション

### ヒトとモビリティとの共生

- ・AI活用による最適で安心安全なモビリティ運行
- ・パーソナルモビリティが行き交うウォークブルエリア





# Hitachi Social Innovation is POWERING GOOD

